

シンポジウム

福島県における災害/復興公営住宅の生活再建の現状と課題

～変わりゆく生活環境と多様化する住民ニーズ～

【開催日時】2025年7月7日(月)13時00分～16時20分

【開催場所】いわき産業創造館(LATOV)6階企画展示ホール

参加人数 会場参加 82名、オンライン参加 78名 計 160名

(1)第一部

パネルディスカッション「福島的生活再建の現状と課題～変わりゆく生活環境～」

モデレーター:福島大学行政政策学類 教授 西田 奈保子 氏

パネリスト:

復興公営住宅:城北団地 自治会長 加藤 直人 氏(会津若松市)

石倉団地 自治会長 田村 智則 氏(二本松市)

泉本谷団地 管理会管理人代表 高橋 郷子 氏(いわき市)

災害公営住宅:大川原災害公営住宅

おおがわら会 会長 山本 千代子 氏(大熊町)

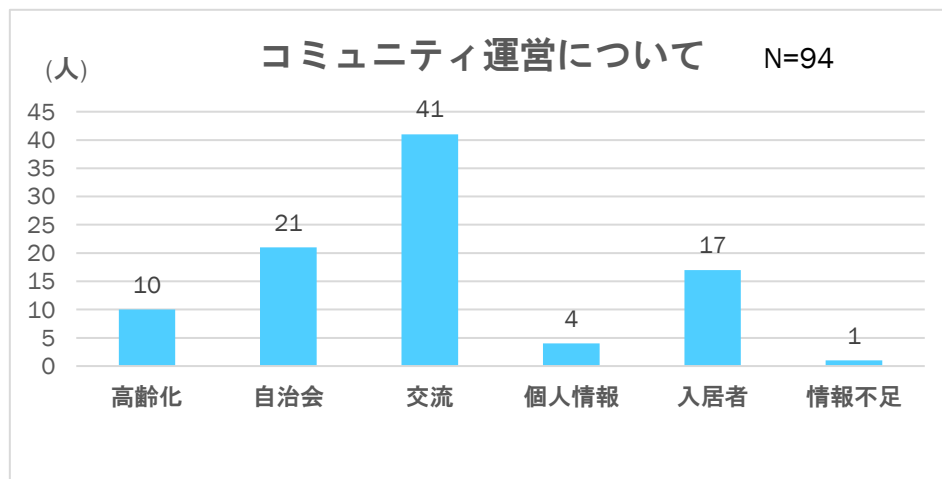
テーマ:コミュニティ運営、防災・見守り体制、担い手の育成について

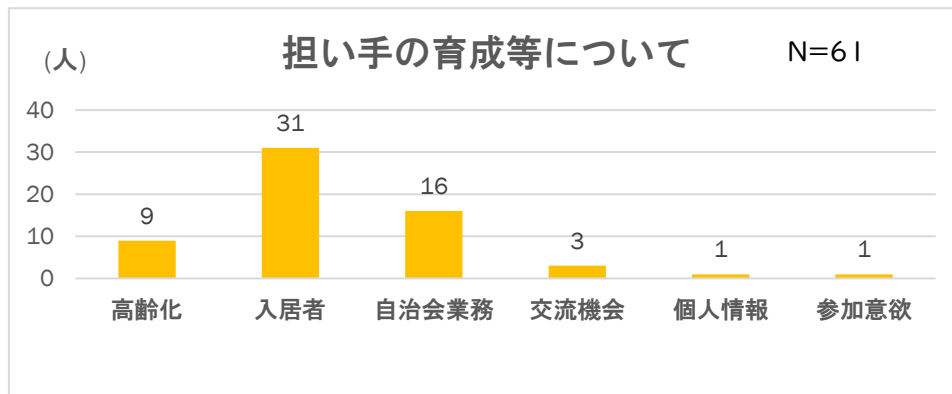
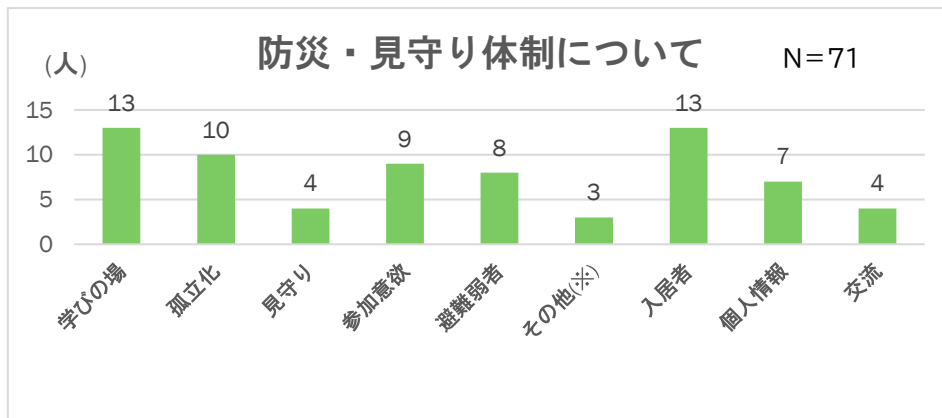


(2)第二部

1.ワークショップ「多様化する課題とその対応について」

2.まとめ





○県内の災害公営住宅等の整備状況(令和7年4月時点)

- ・災害公営住宅:地震・津波被災者向け:整備計画戸数 2807 戸完成
- ・復興公営住宅:原発事故による避難者向け 整備計画戸数 4767 戸完成
併設の公園、生活サポート施設(高齢者サポート拠点、診療所スペース)整備
- ・原発事故による避難からの帰還者向け災害公営住宅 整備計画戸数 453 戸完成
- ・再生賃貸住宅:帰還者および新たな移住者向け
整備計画戸数 382 戸のうち 297 戸完成
- ・子育て定住支援賃貸住宅:自主避難から地元に戻る子育て世帯向け
福島市内に 20 戸完成